

介護サービスを拡充する等、施設介護から居宅介護へ移行していく方針を打ち出してあります。

さらに本年度は、第5期介護保険事業計画期間の最終年であることから、介護関連サービス施設の在り方や居宅介護サービスの要望等を把握するため、第6期介護保険事業計画策定に向けたアンケート調査を行うこととしています。

◆国民健康保険は、高額な医療費が必要な疾病を発症する町民が、増加傾向にあり、保険事業会計の経営的には厳しい状況が続いているため、今後健康診断の受診勧奨や健康管理システム整備による保健指導の充実を図り、健康保持のための各種教室・運動の実施やジェネリック医薬品使用の啓発等、医療費抑制に向けた取り組みを一層強化しながら、本事業会計の健全運営に努めます。

◆特別養護老人ホーム愛生園は、近年の少子高齢化の進行に加え、団塊の世代が高齢期に入り急速に高齢化が進行すると見込まれており、今後、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦世帯の急増が予測される

主な施策内容	予算額
各診療所・歯科診療所医療機器購入事業	18,163千円
各種予防接種委託事業	7,009千円
各種検診委託事業	4,923千円
乳幼児等医療費助成事業(拡充分)	1,500千円

等、世帯構成の変化等により福祉・介護サービスは多様化しています。

こうした中、高齢者だれもが支援を必要としても、住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けられるよう、多様なニーズに添えていくことが老人福祉施設に求められた使命と考えており、「地域に密着した福祉の拠点」としての役割を担うよう努めます。

## 広域連携施策

◆留萌地域電算共同化推進協議会で推進するシステムの共同化については、平成27年度より本稼働予定となっております。本年10月にはシステム移行作業を行い、スムーズな運用開始に努めます。

◆戸籍の電算化業務が、7町村共同運用で昨年8月に導入作業が開始され、本年6月28日からスタートします。戸籍の電算化を行うことにより、大震災等による基礎データの滅失等がなくなり、さらには各種届出から証明書発行までの時間が短縮され、住民サービスの向上に繋がるものと期待しています。

## 教育施策

◆「確かな学力・豊かな心を持ち、健康やかな体の調和のとれた」子どもの成長のため、一人ひとりの子どもを学

校・幼稚園・子ども園・家庭・地域それぞれが、各々の責任を持ちながら連携し一体となって成長を支え、保護者や地域に信頼され、期待に応える基盤となる教育環境づくりに努めます。

◆平成27年4月に予定されている鬼鹿中学校の統廃合の円滑化に努め、さらには統合後の生徒たちの最適な教育環境づくりに配慮します。

◆「笑顔が広がり、共に学び合い、豊かな心を育み、心身ともに健やかに自立した活動ができるまちづくり」を目指し、「町民一人ひとりの学習活動を支援します。」

(その他施策)

- ①健康安全対策の推進
- ②学校給食での安心・安全を確保しつつ地場食材の確保
- ③歴史・文化資料の保存継承

主な施策内容	予算額
通学バス運行委託事業	14,515千円
代替バス通学定期運賃差額補助金	3,459千円
小学校情報機器整備事業	2,618千円

## その他施策

◆当町は昭和41年に町制を施行し、来る平成28年には節目となる50周年を迎えることから、小平の現状を映像として記録に残し後世に伝えるため、本年度より3か年計画で制作事業に着手します。

## おわりに

以上、平成26年度の町政執行に臨む主な施策を述べましたが、町民が求める施策を的確に判断し、さらに町が直面している中・長期的な課題解決を見据えた町づくりを進める必要があります。

そのためには、職員が一丸となり英知を結集し、町民の皆様方と行政の信頼関係に基づき、各施策を推進していかねばなりません。

今後も続くと予想される人口減少、高齢化率をも常に念頭に置き、将来に期待の持てる町づくりに邁進します。で、議員並びに町民各位のなご一層のご理解とご協力をお願いし、町政執行方針といたします。

